

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室わづき			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～	令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供と保護者のニーズや課題に対して、特性に応じた専門性のある支援を個別対応にて行っています	・専門職も入りながら、課題の分析を行っています ・個々の特性に応じた具体的な支援を設定し行っています ・日々の状況に合わせた支援方法を実施します	・専門職（言語聴覚士・理学療法士）と一緒に、課題や成長の評価を行い、スタッフ間のみならず保護者や関係機関と共有して成長する環境作りを行います
2	保護者と子供の健康や発達の状況を伝えあい、必要に応じて意見交換や助言などの支援を行っています	・送迎の際にその日の担当者による意見交換や支援への取り組みの様子などの説明を毎回行っています ・SNSを用い健康状態の連絡、支援や家庭での様子（画像・動画）などのやりとりを必要に応じてスムーズに行っています	・定期的な面談を計画・実施し、保護者との意見交換をさらに深めていきます ・保護者にプログラム内容及び実施状況をSNSを用いて伝え子供の支援と成長を共通理解しながら支援を行います
3	利用日変更や新規利用などの相談にスムーズに対応しています	・SNSを用いて保護者からの相談が行いやすい環境を作っています ・相談支援員からの相談もスムーズな見学・利用体験につながるよう心掛けています	・現在の取り組みを維持していきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応について説明不足	・非常時マニュアル等の説明不足 ・個別対応のため、まとまった全体訓練が行うことができていない	・マニュアル等の掲示の周知を行います ・非常時対応について説明をSNSにて定期的に行います ・個別の訓練でも、個々の有事のイメージできるように掲示及び周知を行います
2	地域の他の子どもと活動する機会の支援が少ない	・個別プログラムを行うため交流の機会が少ない	・事業所の直接支援は難しいが、交流の場（放課後児童クラブや児童館）や支援を行っている事業所（同時利用の事業所）との情報交換を行い、側面的にコミュニケーション場面の練習を行うことで支援します
3	家族に対する支援が不十分	・研修会や専門的支援に関する情報提供を行っているが、周知が不十分 ・保護者同士の交流の場の支援は行っていない ・家族の悩みや相談を聞く場面が送迎時やLINEとなっており、ゆっくり話を聞く場面が作られていない。	・情報提供の関心を持ってもらうために、周知の工夫を行う ・必要に応じて家族とも個人面談する場所を設け、悩みや相談をゆっくり聞く場面を作ります。